



# 今、日本は何をすべきか。

## 岡田かつや 外務大臣就任

### 皆さんに関心を持ってもらえる外交を!

外務大臣就任以降、米国、中国、アフガニスタン、パキスタン、シンガポールなど、世界中を飛び回る岡田かつや代議士。20年間の想いをこめて、山積する外交問題に全力投球している。そんな岡田代議士が、現在の想いを熱く語った。



▲日米閣僚級戦略会議

▼外相就任記者会見



**Q** 先の衆議院選挙の結果、ご自身の7度目の当選とともに、20年来の信念だった政権交代が実現し、鳩山民主党政権が誕生しました。あの時の、そして、今のお気持ちを聞かせてください。

岡田：政権交代が実現したことは、有権者の皆さん1人ひとりの行動の結果ですから、心から感謝したいと思っています。戦後、事実上初めて国民の選択によって政権交代が実現したということは、非常に大きな出来事だと思います。国民の期待にしっかりこたえて、新しい政治を実現していきたいと改めて感じています。

**Q** 岡田代議士は鳩山内閣で外務大臣に就任されました。鳩山総理から外務大臣にといわれた時の率直な感想をお願いします。

岡田：予想していなかったので驚きましたが、基本的に鳩山さんがお決めになったことは受けようと思っていましたので、受けさせていただきました。携帯電話に出たのがたまたま風呂に入っている時で、1日だけ考えさせてくださいと申し上げて、翌日お返事をいたしました。外務大臣になると国内や党のことに目がいかなくなるのではという懸念はありましたが、重要な仕事なのでしっかりやっというと思いました。

**Q** 外務大臣就任のその日に、いわゆる「外交密約」を徹底的に調査し、報告するよう大臣命令を発しました。どのような考えからでしょうか。

岡田：外交は国民の理解と信頼がないと成り立たないというのが、野党時代からの私の考えです。ですから、まずこの問題に取り組もうと考えました。歴代の総理大臣や外務大臣が「密約はありません」と繰り返し答弁されていますが、客観的に見ると疑問があっても不思議ではない状況でしたので、この際、事実関係を明らかにしようとして命令を発しました。11月いっぱいその調査は終わり、その後外部の第三者委員会が検証作業を行なっているところで、1月中には発表できるとしています。

**Q** 日本の外交の当面の課題をどのように考えておられますか。

岡田：外務大臣就任の記者会見でも当面の課題を3つ申し上げたのですが、1つは沖縄の基地問題と米軍の再編問題、2つ目が地球温暖化問題、3つ目がアフガニスタン・パキスタンの支援の問題です。沖縄の基地問題と米軍の再編問題については、沖縄の皆さんの負担を少しでも減らすという観点から解決したいと考えてきました。同時に日米同盟というのは、日本の安全保障の根幹であり、極めて重要です。その兼ね合いで私自身も苦しんだ上での政治決断です。

地球温暖化については、私がここ数年取り組んできた問題です。12月中旬にデンマークのコペンハーゲンで締約国会議(COP15)が開かれますが、大きな方向性が出るように頑張っているところです。

アフガニスタン・パキスタンについては、私自身が現場に行った上で、5年間で最大50億ドルのアフガニスタン支援策をまとめたところです。国際的にも日本の支援のタイミングと中身について評価をいただいています。長い間戦争の中にあつた国が立ち直るよう、これから、国民生活の立て直しに重点を置いて、外交的な努力を尽くしていきたいと考えています。

**Q** ニューヨークと東京で行なわれた2回の日米主脳会談では、オバマ大統領とも会われました。大統領の印象はいかがでしたか。

岡田：大統領はあたたかい人柄の方だと思います。東京で行なわれた

首脳会談では、少人数で食事をする機会がありました。子どものことやスポーツの話がされ、魅力的な人物だと感じました。ハワイ生まれ、インドネシアで子ども時代を過ごされているので、アジア・太平洋に思い入れがあることが良くわかりました。お母さんと一緒に鎌倉で抹茶アイスクリームを食べた思い出を語っておられました。日本に対しても好意的な気持ちを持っておられます。私の相手はヒラリー・クリントン國務長官で、2回話し合いをする機会がありました。残念ながらゆっくり食事をする機会はまだまだありません。クリントンさんは実務的で、次々と問題を提起しながら中身のある良い議論ができる人で、話し合いを重ねて、より良い日米関係を作っていきたいと思っています。

大臣就任後の海外出張 (11月30日現在)



総移動距離は、約57,000キロ  
※直線距離 (経由含まず)  
地球1周約4万キロをはるかに上回る移動距離!

**Q** 大臣就任以来、米国、中国、アフガニスタン、パキスタン、インドネシア、カンボジア、シンガポール等海外出張が続いています。体調管理で気を付けていることやご苦労されたこと等をお聞かせください。

岡田：体調管理は非常に重要です。医師でもある妻の存在があれば、こんなに頑張ることは出来なかったかもしれません。時差に弱いので、これを何とかしたいと思いつつも、なかなか良い解決策がありません。東京にいる時は、週2回はジムに通って体調を維持することを心掛けています。

**Q** 国会では、今までは野党議員として、総理や大臣に質問をすることが多かったと思います。今度は大臣として答弁する側になりましたが、心掛けていることがあればお聞かせください。

岡田：外務大臣が出席しなければならぬ委員会は、衆参合わせて9つあります。大臣の中では最も委員会出席が多い立場で、外務委員会、安全保障委員会など、さまざまな委員会で答弁をしなければなりません。一部副大臣に任せますが、やはり質問者として



ニューヨークで購入しました。来日された各国の外務大臣と会談を行なう機会が多いのですが、私の趣味を知って、何人かの方がカエルを持ってきてくれました。基本的にいただかないようにはしていますが、高いものでもないのでも返しするわけにもいきません。スロバキアの外務大臣はガラス細工のすばらしいカエルを持ってきてくれました。この話をあまりすると、また持ってきてくださる方がいらっしやるので、悩ましいところです。

### 私の近況



「インドネシアの空で買ったカエル」

私の趣味はカエルの置き物集めです。海外に出た時に買い求めてきました。外務大臣になって海外へ行く機会は増えましたが、日程が厳しく、なかなか機会がないのが悩みです。ニューヨークを訪れた時も近くのお土産屋さんに行きましたが、アメリカ政府から付けられたSP10人に囲まれて、買い物をするのはあまりいい図ではありません。なるべくホテルの売店で買い求めるようにしています。外相就任以来、パキスタンとインドネシア、中国、アフガニスタン、そして

### 後援会通信

#### 党員とサポーター募集

民主党を応援してくれる方、民主党員またはサポーターになりませんか?平成22年度の党員・サポーターの登録は新年より行ないます。継続の方、新規登録の方よろしくお願ひ致します。  
●年会費/党員 6,000円 サポーター 2,000円  
●お問い合わせ先 / TEL.059-361-6622

#### 個人献金のお願い

岡田かつやの政治理念に賛同し、個人の立場から財政面でサポートして頂ける方からのご献金を随時受け付けています。ご協力頂ける方は、事務所までご一報ください。何卒趣旨をご理解頂きお支払い下さるようお願い申し上げます。  
●お問い合わせ先 / TEL.059-361-6633

#### 岡田かつやブログ

#### 「TALK-ABOUT」

[katsuya.weblogs.jp](http://katsuya.weblogs.jp)

政治活動の他、思い出に残った本や映画、休日の過ごし方、車の運転など、岡田かつやのプライベートが満載!コメントも書き込みます!

#### メールマガジン「かつやNEWS」

[www.katsuya.net/news.html](http://www.katsuya.net/news.html)

メールでも無料配信  
中!この機会にぜひご登録を!